

報道関係各位

2021年4月6日

## 太陽光パネルと蓄電システムを搭載したユニットハウス

## オフグリッドハウス

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、太陽光パネルと蓄電システムを搭載したユニットハウス「オフグリッドハウス」を2021年4月19日(月)からレンタル受注をスタートし、2021年6月1日(火)からレンタルを開始いたします。

今回の「オフグリッドハウス」は、太陽光パネルと蓄電システムを搭載したユニットハウスです。太陽光の自然エネルギーを利用し、室内の照明やエアコン、電源など独立稼働させることが可能です。また、ハウスがパネル方式のため、入口・窓の位置のレイアウトや連棟仕様によるスペースの拡張など、お客さまの要望に合わせて自由に設計することができます。

蓄電システムには、安全性と性能に優れたエリーパワー社製を採用しており、安全な運用が可能です。

太陽光パネル使用で燃料不要のため、建設現場はもちろん、これまで設置が困難だった僻地やすぐに復旧が難しい災害地域など、電源を必要とする場所での使用が可能です。また、夏場の熱中症対策としての室内使用や、コロナ禍でのソーシャルディスタンスのスペース確保などでの活用が考えられます。

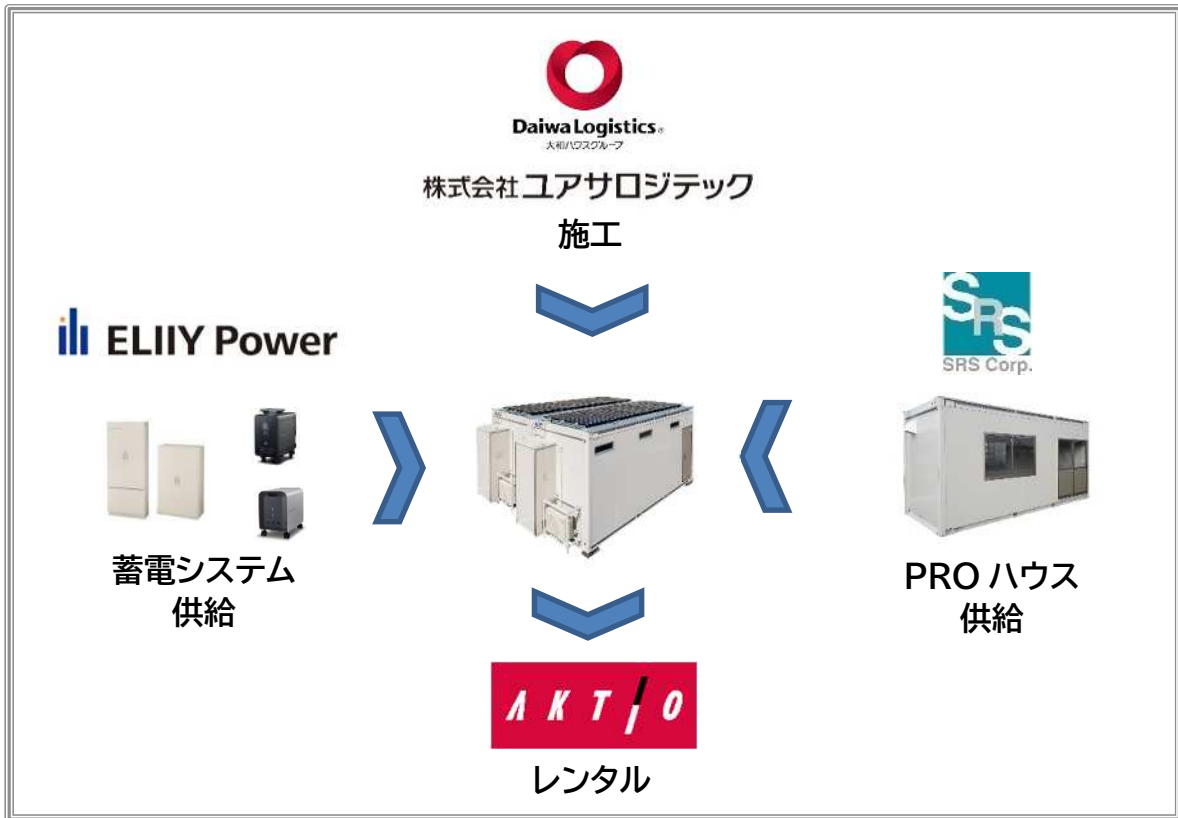
アクティオは今後も「レンタルディング」のノウハウを活かし、さまざまな社会課題を解決する製品やサービスを提供していきます。



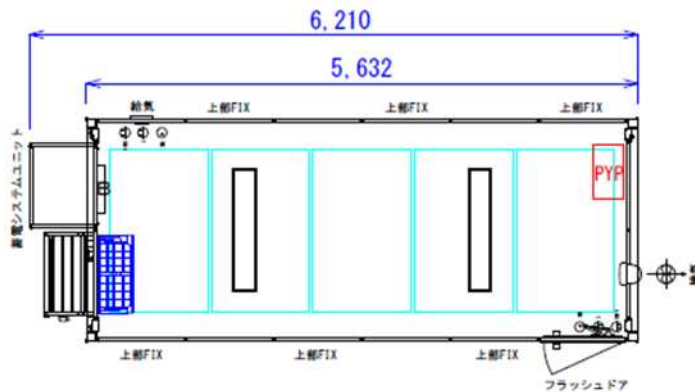
【オフグリッドハウス(2連棟タイプ)】

■国内企業の協業による供給体制

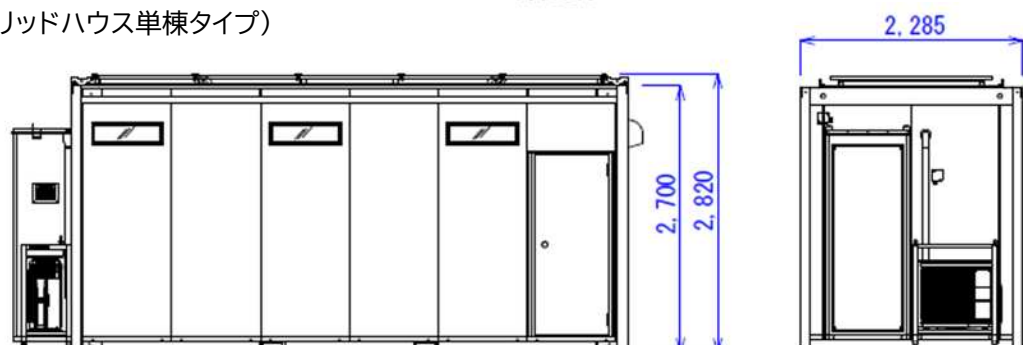
「オフグリッドハウス」は、アクティオグループのエスアールエス株式会社が販売するオリジナルユニットハウス「PRO ハウス」をベースにし、エリーパワー株式会社の太陽光/蓄電ハイブリッドシステム「POWER iE6 HYBRID(蓄電容量:6.2kWh、出力 2.0kW)」+可搬型蓄電システム「POWER YIILE PLUS(蓄電容量:2.45kWh、出力:1.0kW)」を搭載することで、オフグリッドによる電力供給を実現しています。また、施工は蓄電システムの取り扱いに精通した、大和ハウスグループの株式会社ユアサロジテックが行います。



■平面図(オフグリッドハウス単棟タイプ)



■立面図(オフグリッドハウス単棟タイプ)



■オフグリッドハウス(2連棟タイプ)内観



■蓄電システムパネル



■蓄電システム



太陽光/蓄電ハイブリッドシステム  
POWER iE6 HYBRID

蓄電容量:6.2kWh  
出力:2.0kW



可搬型蓄電システム  
POWER YIILE PLUS

蓄電容量:2.45kWh  
出力:1.0kW

## ■製品仕様(オフグリッドハウス単棟タイプ)

呼称	オフグリッドハウス	
ハウス型式	プロハウス4坪	
寸法	全長L (mm)	5,632(ユニット除く)
	全幅W (mm)	2,285(ユニット除く)
	全高H (mm)	2,700(2,820 太陽光パネル含む) 天井高(CH)=2,353
床面積	(㎡)	12.20(壁芯～壁芯3.9坪)
床耐荷重	(kg/㎡)	300
本体質量	(kg)	2,381 ※オフグリッドハウス標準レイアウト(ユニット・太陽光パネル含む)
照明器具	(台)	40W埋込LED照明×2(3路スイッチ×2ヶ所)
エアコン	(基)	1(单相100V 1.3HP)
コンセント	2口コンセント×3ヶ所、ILコンセント×2ヶ所	
換気設備	換気扇パネル(Φ150ウェザーカバー付)給気口パネル(Φ100)を設定 ※ハウス本体には含まれません	
電気設備	負荷用ブレーカ20A×4 (他PV用・発電機切替用) 操作用リモコンパネル	
太陽光パネル	(kW)	1.55(310W×5枚)
蓄電システム	エリーパワー社製 太陽光/蓄電ハイブリッドシステム「POWER iE6 HYBRID(蓄電容量:6.2kWh、出力2.0kW)」+可搬型蓄電システム「POWER YIILE PLUS(蓄電容量:2.45kWh、出力:1.0kW)」	

■レンタル受注開始日：2021年4月19日(月)～

レンタル開始日：2021年6月1日(火)～ ※単棟タイプからレンタル致します。

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

【画像素材 DL リンク】<https://www.pr-today.net/a00294> パスワード:aktio

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、松本

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6854-1436 e-mail:koho@aktio.co.jp